

提 案 書

地域のまちづくりに関する施策について

テーマ「福祉，健康，安全・安心」

「産業・経済，観光」



かわちハートフル運動会



岡本家住宅

平成27年2月

宇都宮市河内自治会議

も く じ

1. はじめに	1
2. テーマの設定	2
3. 提案への取り組み	4
4. 平成25年度「福祉, 健康, 安全・安心」についての提案	
(1) 現状と課題と目標	5
(2) 実現方策と実現プラン	6
5. 平成26年度「産業・経済, 観光」についての提案	
(1) 現状と課題と目標	9
(2) 実現方策と実現プラン	10
6. 審議の経緯	12
7. 委員名簿	13

【表紙の写真】

○かわちハートフル運動会

毎年、河内地区で開催される「かわちハートフル運動会」でのひとコマです。この運動会は、高齢者の方や障がいのある方、子ども達が気軽に参加でき、相互の親睦を深め健康維持増進を図っていく特色ある運動会です。

○岡本家住宅

昭和43年4月25日に国指定文化財となった岡本家住宅です。同家は下岡本の旧家で、建物が曲がり家と言われる折れ曲がった形式が特徴とされています。構造は前後二つの部分から成立していることも珍しく、両者を食い違いに配し、屋根は寄棟造り、茅葺で、棟を平行に並べ、その間は短い棟でつながれています。

1. はじめに

地域のまちづくりに関する施策についての提案は、自治会議が担う大きな役割のひとつです。この提案書は、河内地域が目標とする『水と緑に囲まれ やさしい居住空間にあふれる住みやすい地域』の実現に向け、現在の地域の現状と課題を整理し、魅力ある地域の将来像を提案するものです。

これまで、第1期（平成19年度～20年度）においては、「暮らしやすく、触れ合い交流に満ちた地域に向けて」をテーマに6つの提案をしました。また、第2期（平成21年度～22年度）においては、「住みやすく、生きいきとした地域を目指して」をテーマに7つの提案をまいりました。

第3期（平成23年度～24年度）からこれまでの提案とはスタイルを変え、これからのまちづくりは地域が自ら取り組むことを基本に、住民自治の観点から次の3点を念頭に取り組みをはじめました。

- 地域の多くの人の意見を集約した提案とする。
- 自分たち（地域）が『何ができるか』を常に意識する。
- 10年後の理想と実現性を描く。

このような考えのもと、今回は「福祉、健康、安全・安心」「産業・経済、観光」について現状の把握や課題の抽出、目標設定、実現方策、実現プランについて協議をし、取り組みの方向性を導き出して、地域全体でその目標に向かって活動できるよう、実行性（実効性）のある提案となるように心掛けました。

本年度、地域自治拠点整備事業及び中央公民館改修整備事業の一体的整備として、平成28年度の供用開始に向けて河内地域自治センターの整備が進められております。供用が開始されると、地域活動がより一層、精力的に行うことができることから、まちづくりを担う新たな人材の発掘や育成の取り組みが見込まれます。

この提案書が、河内地区まちづくり協議会で進めている「地域ビジョン」策定の一助となり、河内地域が本市の中でもより一層輝きを増し、誇れる地域として持続的に発展していくこととなれば幸いです。

2. テーマの設定

(1) 設定の考え方

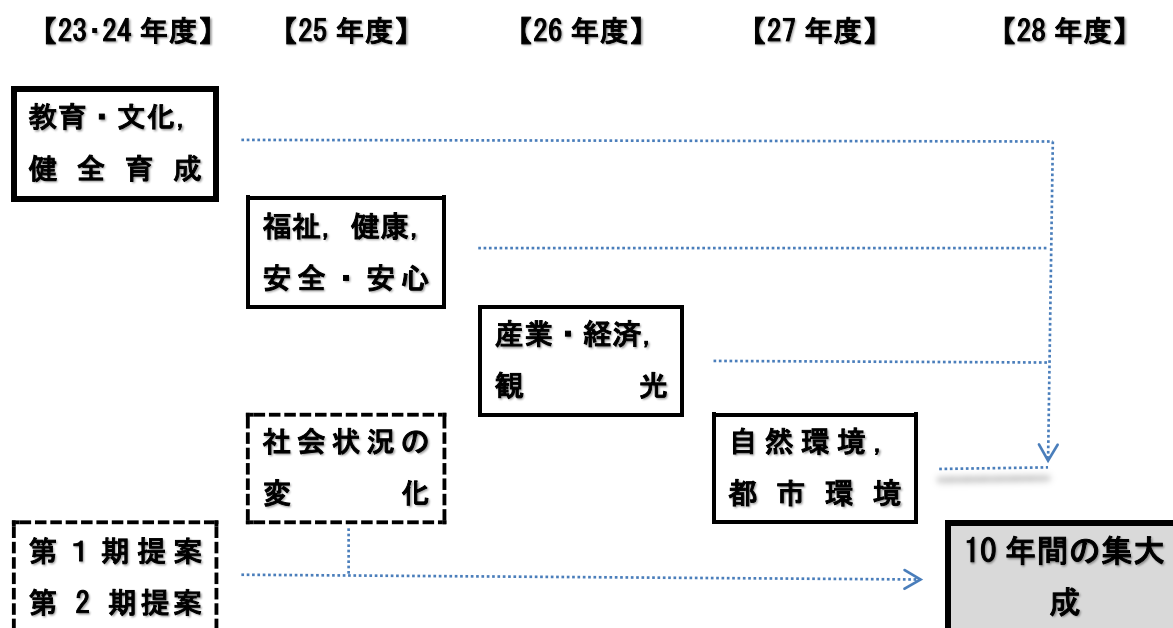
今回のテーマの設定にあたっては、合併後8年目を迎えた自治会議が最終年度に近づいていることから、第3期(平成23・24年度)の提案から4つのテーマを設定し、最終年度を見据えて検討していくこととしました。

具体的には、地域の様々な課題をすべて洗い出し、分野別に体系化することにより、提案内容に統一性や継続性を持たせることとしました。

また、地域の10年後の姿をイメージし、地域の多くの皆さんが様々な形で、まちづくりに関わっていただけますよう、より身近でわかりやすい提案内容としました。

(2) 計画的な取り組み

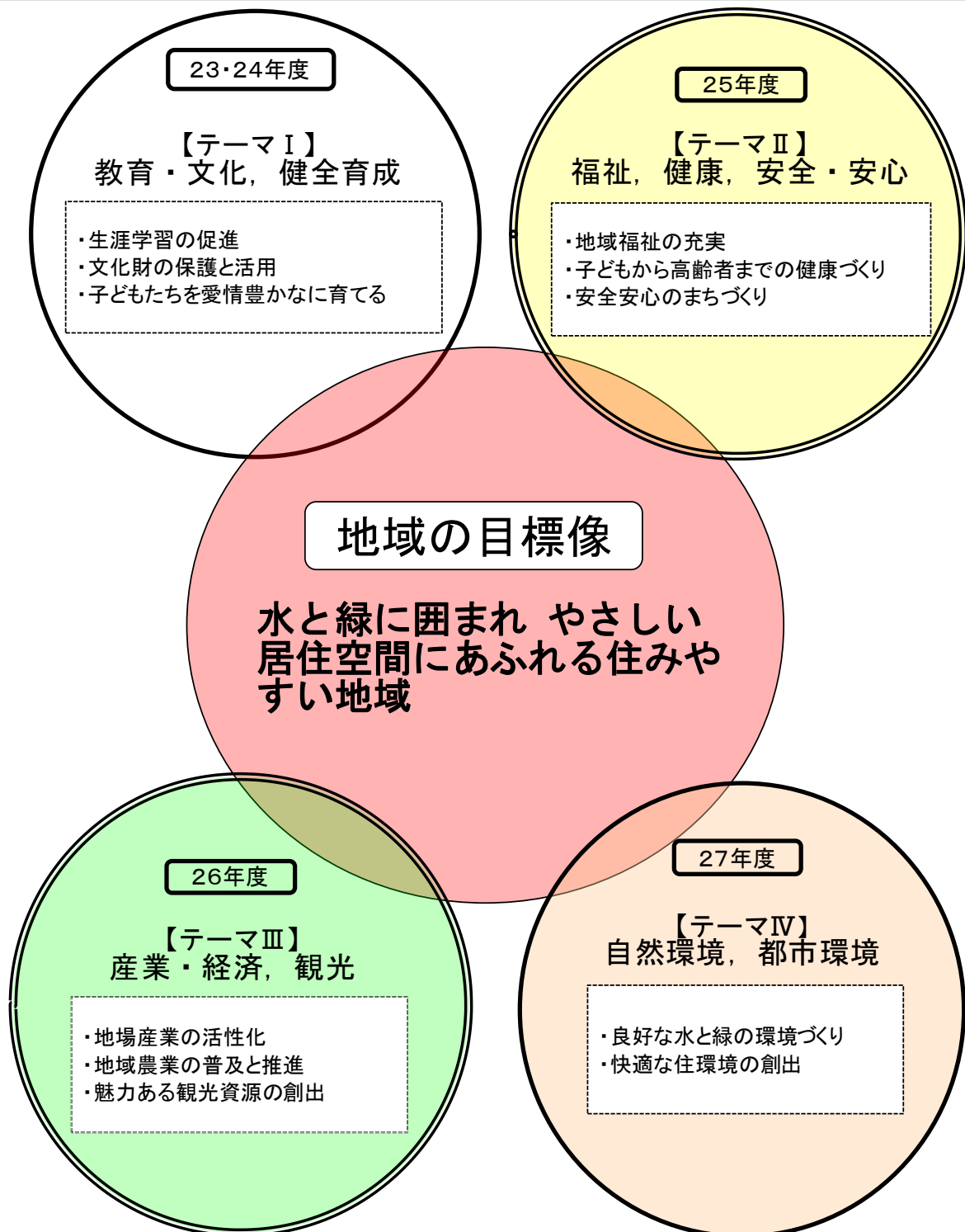
テーマの設定にあたりましては、宇都宮市が取り組む主要な施策としての25項目の中から、地域の特性等を考慮して9項目に絞り込みました。さらに、類似の分野を4つのテーマに集約して、下記のように計画的に取り組んでいくこととしました。



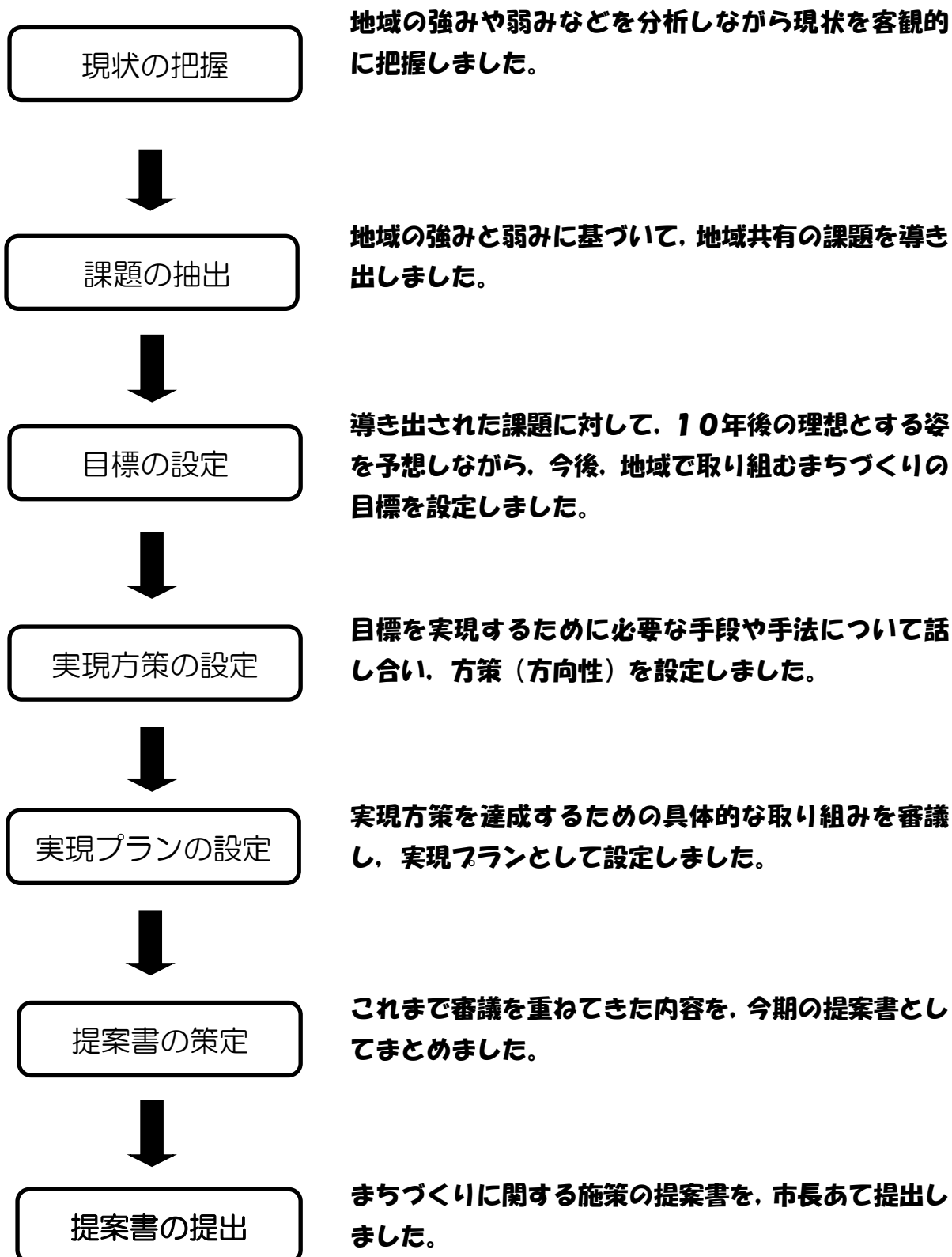
今期(平成25・26年度)は、4つのテーマのうち平成25年度に「福祉、健康、安全・安心」平成26年度に「産業・経済、観光」について検討し、このテーマについての提案を行いました。

最終期の平成27年度は、「自然環境、都市環境」について検討し、すべてのテーマが整うこととなります。自治会議の最終年となる平成28年度には、これら4つのテーマについて、この間の社会状況の変化や第1・2期の提案等も踏まえて総合的に検討し、10年間の集大成として今後の地域のまちづくりに資する提案を行う予定です。

まちづくり提案の体系図



3. 提案への取り組み



4. 平成25年度「福祉, 健康, 安全・安心」についての提案

(1) 現状と課題と目標

○⇒強み, ●⇒弱み

	福祉	健康	安全・安心
現 状	○福祉施設が充実して高齢者が安心できる地域である。 ○福祉ボランティアの活動が盛んである。 ●一人暮らしの高齢者世帯が増加している。 ●地域の相互扶助が希薄化してきている。 ●福祉マンパワーが不足し、要援護者を見守る人が少ない。 ●移動の手段がない独居高齢者が増加している。	○福祉施設が充実して高齢者が安心できる地域である。 ○総合運動公園やプール等の体育施設が充実している。 ○スポーツのまちとしてスポーツが盛んである。 ●アピール不足もあり、スポーツ大会の住民参加者が低い。 ●塩分の摂り過ぎなど、食育に関する意識が低い。	○防災訓練が毎年実施されるなど、地域の防災意識が高い。 ○防犯パトロールが実施され、地域の防犯意識が高い。 ○地域内3箇所で交通安全運動を実施している。 ●消火器・火災報知機の普及率が低いなど防災意識が薄い。 ●交通モラルの低下が見られ、交通ルールを遵守しない。



課 題	・ 様々な交流の場を増やし、高齢者を孤立させない地域にする必要がある。 ・ 高齢者等外出困難者の移動手段を確保し、地域内の移動を可能にする必要がある。 ・ 助け合い精神を持ち、住民が互いに思いやる必要がある。	・ 施設の有効利用と気軽に参加できるスポーツを通して、健康づくりを進める必要がある。 ・ 食育に関する意識を向上させ、健康に配慮した取り組みをする必要がある。 ・ 多様な機会を捉えて健康づくりの啓発を進め、健康に対する意識を高める必要がある。	・ 交通ルールの遵守と交通マナーの向上に努める必要がある。 ・ 災害に対する高い意識を持ち、地域の防災力を高める必要がある。 ・ 地域ぐるみで防犯に対する意識を高める必要がある。
--------	--	---	---



目 標	みんなの思いやる心で幸せを感じる「まち」	健康で生きがいのある生活ができる「まち」	やすらぎのある暮らしができる安全・安心な「まち」
--------	----------------------	----------------------	--------------------------

(2) 実現方策と実現プラン

【福祉】

目 標

みんなの思いやる心で幸せを感じる「まち」

(実現方策 1) 世代を超えた交流の場を充実させる

《実現プラン》

- ① 地域施設を活用し地域サロンを開設する。
- ② 昔遊びを通して世代を超えた交流を行う。

(実現方策 2) 誰もが気軽に利用できる移動手段を確保する

《実現プラン》

- ① 外出困難者が身近なところで買い物などができる場をつくる。
- ② さぎそう河内号等の利用を広めて、誰もが気軽に外出できるようにする。

(実現方策 3) 地域が連携して住民の生きがいをづくりをする

《実現プラン》

- ① 地域で生きがいをづくりの場をつくる。
- ② 地域の人材を活かした講座や教室を開催する。

【健康】

目 標

健康で生きがいのある生活ができる「まち」

（実現方策４）誰もが楽しめるスポーツを通して健康増進を図る

《実現プラン》

- ① ウォーキングマップのルートを作成しウォークラリーを開催する。
- ② 地域の施設を利用したスポーツ教室を開催する。

（実現方策５）食育や地産地消を通して健康づくりを進める

《実現プラン》

- ① 食育セミナーを開催する。
- ② 地区内で採れた農産物を使ったグルメコンテストの開催をする。

（実現方策６）ひとりひとりの健康に対する意識を高める

《実現プラン》

- ① 健診に合わせて、地域で健康イベントを開催する。
- ② 地域で体力テストを実施する。

【安全・安心】

目 標

やすらぎのある暮らしができる安全・安心な「まち」

（実現方策 7）交通安全意識を高めて安全で安心な交通環境づくりを進める

《実現プラン》

- ① 交通安全教室を開催する。
- ② 地域の危険マップを作成し、危険箇所では安全指導をする。

（実現方策 8）防災意識を地域に浸透させて防災行動力を高める

《実現プラン》

- ① 自治会で避難訓練等を実施し、防災意識を高める。
- ② 自治会掲示板等を活用した緊急時の情報伝達を実施する。

（実現方策 9）防犯意識を高めて地域の防犯力の向上を図る

《実現プラン》

- ① 警察・学校・家庭と連携して防犯教育を行う。
- ② 声かけあいさつ運動を実施する。

5. 平成26年度「産業・経済、観光」についての提案

(1) 現状と課題と目標

○⇒強み, ●⇒弱み

	産業・経済	観光
現状	○ブランド力のある豊かな農産物がある。 ○野菜や果物など良質な農産物が採れる地域である。 ○水や土壌など農産物の生産に適した条件が整っている。 ○納豆, 餃子, 地酒, 紙, バス・電車線の部品などを製造する企業がある。 ○河内工業団地と白沢工業団地がある。 ●地元の農産物を販売する施設が少ない。 ●河内ブランドの知名度が低い。 ●農業の担い手が少ない。 ●地域内の企業のPRが不足している。 ●事業所が減少傾向にある。	○屋台や天棚など歴史のある文化財や伝統行事がある。 ○水や緑など豊かな自然に恵まれている。 ○岡本家住宅や白沢宿など地域に観光スポットがある。 ●河内の観光のPRが不足している。 ●観光施設の駐車場や休憩所等が整備されていない。 ●伝統継承者が少なくなっている。



課題	・地元の特産物のブランド力を高める必要がある。 ・農業の担い手づくりをする必要がある。 ・地元住民と企業との交流を図る必要がある。	・地域文化資源や自然環境を観光に活かす必要がある。 ・地域の伝統文化を残す必要がある。
----	---	--



目標	地域に特産物があり産業や経済が豊かな「まち」	地域資源を活かした観光でにぎわう魅力ある「まち」
----	------------------------	--------------------------

(2) 実現方策と実現プラン

【産業・経済】

目 標

地域に特産物があり産業や経済が豊かな「まち」

(実現方策 1) 地域の特産物のブランド力を高める

《実現プラン》

- ① 特産物にインパクトのあるネーミングを考案する。
- ② I Tを活用し河内の特産物を広くPRする。
- ③ 各種の地域農産物を活用したカレンダー等を作成する。

(実現方策 2) 農業の魅力を浸透させ担い手を育成する

《実現プラン》

- ① 付加価値の高い農産物を生産する。
- ② 食育をとおして農業の良さをアピールする。
- ③ 農業の魅力を感じるような農業体験を実施する。

(実現方策 3) 地域と企業との交流を図り連携する

《実現プラン》

- ① 地域と企業が一体となったイベントを開催する。
- ② 商工農についての研究会を発足する。

【観光】

目 標

地域資源を活かした観光でにぎわう魅力ある「まち」

（実現方策４）文化財を有効活用し観光につなげる

《実現プラン》

- ① メディア（新聞、テレビ等）を利用して全国に発信する。
- ② 観光ボランティアを育成し、文化財巡りツアーを企画する。
- ③ 文化財マップの看板を作成する。

（実現方策５）自然環境の良さを活かし河内らしい観光スポットを充実させる

《実現プラン》

- ① ウォーキングルート・サイクリングルートを作成する。
- ② 観光スポットの休憩所や駐車場を確保する。

（実現方策６）伝統文化を守り続ける継承者を育成する

《実現プラン》

- ① 隠れた伝統資源を発掘し地域の宝にする。
- ② 小中学校で地域の伝統文化の講座を開催する。
- ③ 若い世代を中心に伝統行事を開催する。

6. 審議の経緯

平成25年度

- 平成25年 6月26日 第3回自治会議
・個別テーマの現状把握の検討
- 平成25年 7月30日 第4回自治会議
・個別テーマの現状把握の確定
・課題抽出の検討
- 平成25年10月25日 第5回自治会議
・課題抽出の確定
・10年後の目標設定の検討
- 平成25年12月13日 第6回自治会議
・目標設定の確定、実現方策の検討
- 平成26年 2月19日 第7回自治会議
・実現方策の確定、実現プランの検討

平成26年度

- 平成26年 4月21日 第1回自治会議
・実現プランの確定
- 平成26年 5月28日 第2回自治会議
・個別テーマの現状把握の検討
- 平成26年 6月26日 第3回自治会議
・個別テーマの現状把握の確定
・課題抽出の検討
- 平成26年 7月23日 第4回自治会議
・課題抽出の確定
・10年後の目標設定・実現方策の検討
- 平成26年10月23日 第5回自治会議
・目標設定・実現方策の確定
・実現プランの検討
・提案書（素案）の審議
- 平成26年12月16日 第6回自治会議
・実現プランの確定
・提案書（案）の審議
- 平成27年 2月18日 第7回自治会議
・提案書の確定

7. 委員名簿

会 長	杉 原	弘 修
副会長	川 上	幸 子
委 員	大谷津	健 敏
委 員	小 野	章
委 員	加 藤	幸 雄
委 員	君 島	京 子
委 員	小 森	光 晴
委 員	櫻 井	基一郎
委 員	関 口	啓 子
委 員	多田出	芳 子
委 員	永 井	寛
委 員	中 澤	敏 美
委 員	中 村	房 夫
委 員	舩 橋	あけみ
委 員	宗 像	茂
委 員	森 田	由利子
委 員	山 田	ちい子
委 員	山 田	祐 子
委 員	我 妻	勝 次
委 員	若 林	知

(※委員名は、会長・副会長を除き50音順)